

令和4年度
事業報告書

2022年4月1日～2023年3月31日

社会福祉法人
筑前町社会福祉協議会

令和4年度 筑前町社会福祉協議会事業報告

I. 総括的概要

社会福祉法人筑前町社会福祉協議会（以下「社協」という。）は、地域が抱えている様々な問題を地域課題と捉え、中核的な機関として地域福祉の推進を行ってきました。

令和4年度は、合併以前から受託している「在宅高齢者等配食サービス事業」・「敬老館食堂事業」・「敬老館運営事業」と、平成19年10月から受託している「放課後児童健全育成事業」のすくすくクラブ運営が受託終了となりました。

一方、新型コロナウイルス感染症の拡大により生活に困窮する世帯に対し、生活福祉資金の特例貸付の受付業務を令和4年9月末までの2年半行い、令和5年1月からはこの特例貸付の償還が開始され、その対応を始めました。

地域福祉の推進では、新型コロナウイルス感染症が減少傾向にあることから、「居場所」や「地域活動」の実施回数が増え活動支援を行いました。

また、コロナ禍でやむを得ず中止していた「在宅介護者のつどい」や「ボランティア交流会」を実施し、つながりを広げる機会となりました。

「住民参加型有償生活支援サービス事業」も2年目になり、利用回数の増加や支援者である「かせし隊」隊員も増え、活動が広がりました。住民やボランティアへ、地域支え合い活動の受容性、推進の必要性を理解していただき地域福祉の担い手づくりを推進しました。

社協への多種多様な相談に対して、全職員で連携し住民、社会福祉法人連絡会や関係機関に協力を求め、断らない相談支援を心掛け、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるように相談解決に努めました。

法人運営では、「育児・介護休業等に関する規程」や「虐待防止対応規程」を制定し、基盤強化に努めました。

II. 事業別実績

1. 法人運営

(1) 法人運営事業

① 会議の開催

名 称	期 日	内 容
監査会	5月18日(水)	・令和3年度決算監査
第1回理事会	6月1日(水)	・令和3年度事業報告及び決算報告の承認について ・評議員候補者の推薦について ・評議員選任・解任委員会の招集について ・役員候補者の推薦について ・定時評議員会の招集について
第1回評議員 選任・解任委員会	6月3日(金)	・評議員の解任及び選任について
第1回評議員会	6月17日(金)	・令和3年度事業報告及び決算報告の承認について ・役員の選任について
第2回理事会 (みなし決議)	8月23日(火)	・高齢者等配食サービス事業及び敬老館食堂事業の受託契約終了の件について ・筑前町社会福祉協議会定款の一部改正の件 ・令和4年度第1次補正予算案の承認の件 ・評議員会の招集の件
第2回評議員会 (みなし決議)	8月31日(水)	・高齢者等配食サービス事業及び敬老館食堂事業の受託契約終了の件について ・筑前町社会福祉協議会定款の一部改正の件 ・令和4年度第1次補正予算案の承認の件
町監査	10月5日(水)	・財政支援団体監査
監 査	12月7日(水)	・令和4年度前期監査
第3回理事会	12月21日(水)	・評議員候補者の推薦について ・評議員選任・解任委員会の招集について ・顕彰規程及び顕彰規程施行細則の一部改正について ・評議員会の招集について
第2回評議員 選任・解任委員会	12月26日(月)	・評議員の解任及び選任について

第3回評議員会	令和5年1月6日 (金)	・顕彰規程及び顕彰規程施行細則の一部改正について
第4回理事会	3月2日(木)	・評議員候補者の推薦について ・評議員選任・解任委員会の開催について ・役員等賠償責任保険の加入について ・育児・介護休業等に関する規則の制定について ・虐待防止対応規程の制定について ・令和4年度第2次補正予算案について ・令和5年度事業計画案について ・令和5年度予算案について ・評議員会の招集について
第3回評議員選任・解任委員会	3月8日(水)	・評議員の解任及び選任について
第4回評議員会	3月24日(金)	・育児・介護休業等に関する規則の制定について ・虐待防止対応規程の制定について ・令和4年度第2次補正予算案について ・令和5年度事業計画案について ・令和5年度予算案について

(2) 組織運営及び機能強化

① 財務運営管理

適正な財務管理に努めました。

(3) 役職員の資質の向上

総合相談

県社会福祉大会	10月26日(水)
朝倉地区障害者等自立支援協議会地域部会	5月12日(木)
朝倉地区障害者等自立支援協議会地域・在宅支援部会	7月19日(火)・9月20日(火) 11月22日(火)・1月17日(火) 3月14日(火)
朝倉地区障害者等自立支援協議会計画相談部会	4月7日(木)・6月9日(木)・

	8月18日(木)・12月15日(木) 2月24日(金)
朝倉地区障害者等自立支援協議会子ども支援部会	11月25日(金)・2月24日(金)
朝倉地区障害者等自立支援協議会運営部会	5月25日(水)・10月6日(木) 3月6日(月)
朝倉地区障害者等自立支援協議会	7月4日(月)・3月28日(火)
筑前町地域自立支援協議会	5月18日(水)・8月8日(月) 10月20日(木)・2月27日(月)
朝倉地区障害者差別解消支援地域協議会	5月25日(水)・10月6日(木) 3月6日(月)
障害支援区分認定調査員研修初任者向け(OL)	5月27日(金)
障害支援区分認定調査員研修現任者向け	9月22日(木)
両筑地区社協障がい者相談支援事業担当者会	3月23日(木)
日常生活自立支援事業専門員I研修(OL)	6月10日(金)
日常生活自立支援事業生活支援員研修会 初任者編(OL)	8月3日(水)
成年後見制度利用促進研修会(OL)	7月25日(月)
災害ケースマネジメントキャラバン のぞえサマーセミナー	6月30日(木) 8月6日(土)
「みんなで子ども・子育て支援を考える」	
ひきこもり支援者等地域ネットワーク会議	1月16日(月)
自殺対策ネットワーク会議	3月31日(金)

地域福祉

両筑地区社協連絡会地域福祉活動部会	4月6日(水)・8月30日(火) 11月24日(木)・2月24日(金)・ 3月29日(水)
福岡県ボランティアセンター運営委員会	3月13日(月)
筑前町防災訓練	2月5日(日)
令和5年度福岡県総合防災訓練第1回全体会議	2月15日(水)
両筑地区災害ボランティアセンター	6月28日(火)・7月25日(月)

設置運営訓練実行委員会	8月25日(木)・9月29日(木) 10月31日(月)・11月18日(金) 12月19日(月)
両筑地区災害ボランティアセンター 設置運営訓練	11月19日(土)
防災キャンプ(ニシハラサバイブ)	11月5日(土)～6日(日)
ライフレスキューサポーター養成講座	4月14日(木)・4月21日(木)
ライフレスキュー事業フォローアップ研修	1月23日(月)
市町村地域福祉計画に関する研修会(OD)	5月12日(木)
市町村社協福祉教育担当者会議	2月21日(火)
福岡県地域福祉活動職員連絡会研修	5月20日(金)・7月5日(火) 8月31日(水)・10月21日(金) 12月21日(水)・2月10日(金)
両筑地区ボランティア担当者意見交換会	5月23日(月)・11月28日(月)
ふくおかきずなフェスティバル	2月19日(日)
災害VC設置運営訓練全体研修	6月16日(木)
福岡県SC初任者研修(OD)	7月22日(金)
生活支援コーディネーター交流会(OL)	12月7日(水)
生活支援コーディネーター研究協議会(OD)	1月25日(水)
福岡県生活支援コーディネーター連絡会(OD)	1月27日(金)
SCカフェ9(OD)	3月17日(金)

(4) 事務局体制の整備

事業主人権問題研修会	10月25日(火)
企業内同和問題推進協議会人権啓発研修会	2月7日(火)
県社協市町村社協会長・事務局長研修会(OL)	12月23日(金)
県社協市町村社協事務局長会議	2月9日(木)
両筑地区社協連絡会会長・事務局長会	4月18日(月)・7月29日(金) 3月3日(金)
両筑地区社協連絡会事務局長会	10月19日(水)
労働保険事務手続講習会	5月17日(火)

算定基礎届事務説明会	5月30日(月)
年末調整に関する事務講習会	11月14日(月)
社会福祉法人会計セミナー	11月24日(木)
メンタルヘルス対策セミナー(OL)	7月14日(木)
生活福祉資金システム導入に関する説明会(OL)	8月19日(金)
育児休業事務講習会	9月26日(月)
入社退社に関する社会保険事務説明会	2月7日(火)
電話相談実務者研修会	2月14日(火)

※(OL) オンライン (OD) オンデマンド

(5) 広報活動の推進(広報・ホームページ)

社協の事業を広く町民に情報発信し、福祉事業への理解と支援を得られるよう推進しました。

① 広報誌発行

・「ちくぜん社協だより」、「声の社協だより」4回発行(5、8、10、1月)

② 町発行広報誌「広報ちくぜん」による広報・情報提供を行いました。

③ ホームページに福祉情報を掲載しました。

④ ホームページのリニューアルに向けた検討や協議を行いました。

・ホームページリニューアル委員会 6回

(6) 地域福祉活動計画の実現に向けて

年度当初は下記12事業を重点事業と定めていましたが、配食サービス事業の受託終了、重度障がい者のつどいは事業廃止の判断を行い10事業となりました。年度ごとの推進計画を作成し実施評価と軌道修正を行い令和7年度までの最終目標実現のため取り組んでいます。(資料別紙添付)

① 社協だより・ホームページ

② いきいきサロン事業

③ 生活支援コーディネーター事業

④ 障害者相談支援事業

⑤ 障がい者のつどい

⑥ 放課後児童健全育成事業

⑦ 福祉教育の推進

⑧ 日常生活自立支援事業

⑨ ボランティアセンター運営事業

⑩ 災害ボランティアセンター設置運営マニュアルの再整備

2. 社会福祉事業

(1) 独自事業

① 心配ごと相談事業

日常的に住民が抱える悩みや困りごとなどを相談する窓口として開設し、相談員が助言を行いました。また、無料弁護士相談や専門的に相談できる機関を紹介し問題解決の手助けを行いました。

- ・毎月第1、第3金曜日に相談日開設

相談員 行政相談委員2人 調停相談員1人 人権擁護委員7人
民生児童委員4人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	5	2	4	3	2	2	6	3	3	0	1	2	33

〈相談内容事項ごとの解決状況〉

相談内容事項	相談件数	解決内容			
		解決	再来	他機関	その他
生計	5			4	1
家族	9			2	7
健康・衛生	1				1
医療	1				1
財産	7		1	3	3
教育・青少年	1			1	
苦情	1				1
その他	8	1	2		5
合計	33	1	3	10	19

- ・令和4年度相談員研修 令和4年3月8日(水)「財産相続について」

(2) 受託事業

① いきいきサロン事業

住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように、地域みんなが支え合い、共に元気で楽しく心を通わせる場となるサロン事業の推進を行っています。

サロンメニューに健康づくりに役立つレクリエーションを取り入れ、介護予防に重点を置き活動を行いました。

また、感染対策を十分に行いながら、人との接触が少ないレクリエーションゲームを再開しました。

- ・開催地区 33 地区
- ・実施地区 31 地区
- ・未実施地区 2 地区
- ・延実施回数 259 回
- ・延参加人数 3,837 人

ア) サロン代表者会議

- ・4月26日 サロン実施内容の説明と助成金交付
- ・2月15日 今年度実施報告と次年度計画の説明
- ・9月8日(中止) 合同交流会中止決定のため

イ) 合同交流会

サロン実施全地区にアンケートを実施した結果、参加を希望する地区のみでの実施を予定していましたが、コロナウイルス感染防止のため8月に中止を決定しました。

ウ) 防犯講座の実施(3ヵ年計画)

安全、安心の筑前町の確立を目的に朝倉警察署に依頼し、全地区の講座実施を目指して、8月から実施しています。

月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回数	1	1	1	1	1	1	3	3	12地区

エ) 住宅火災予防講座の実施

筑前町の住宅火災予防として、甘木・朝倉消防署西部分署と協力し、住宅火災予防講座を1月から実施しています。

月	1月	2月	3月	計
回数	2	5	2	9地区

オ) 各サロンの取り組み

- ・園児との交流 1地区
- ・野外活動 8地区
- ・町の出前講座 39回
- ・その他の出前講座 88回
- ・独自活動 26回

カ) コロナ禍による衰退への対応（参加しやすい環境の整備）

職員が随時各サロンに出向き、サロン継続への支援を行いました。

② 在宅高齢者等配食サービス事業

買物や調理が困難な高齢者等に対して、栄養のバランスがとれた食事を提供しました。また、利用者の見守り・安否確認を徹底しました。

配食サービス利用者食数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
利用者数	56	56	64	63	51	49	339人
昼食数	352	357	393	381	344	320	2,147食
夕食数	910	775	862	900	816	764	5,027食

※9月30日で受託契約が終了しました。

③ 敬老館運営事業

家に閉じこもりがちな高齢者が交流を通して健康維持、生きがいをづくりとして集う場を提供しました。新型コロナウイルス感染予防に十分配慮しながら運営しました。

敬老館年間来館者数

(単位：上段 日 下段 人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
開館日数	26	25	26	27	23	25	
利用者数	380	551	528	433	191	226	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開館日数	26	26	23	23	24	27	301
利用者数	262	254	166	186	198	188	3,563

※3月31日で受託契約が終了しました。

④ 敬老館食堂事業

敬老館利用者等に弁当の予約販売を行いました。

・合計 1,881食

※9月30日で受託契約が終了しました。

⑤ 放課後児童健全育成事業

小学生を対象に、放課後児童が帰宅しても就労等のため保護者が不在等の家庭に代わって保育を行いました。

しました。

ケ) 安心メールの活用

コ) 次年度の一部他業者運営移行に向けて、引継ぎ等準備を行いました。

⑥ 障害者相談支援事業

障がいのある人が自立した生活を営むことができるように、情報提供の便宜や、権利擁護のための必要な援助、市町村やサービス事業者との連絡調整を行いました。障害者総合支援法に基づき事業を推進しました。

ア) 指定特定相談事業

スムーズな障害福祉サービスの利用ができるようにサービス等利用計画の作成を行いました。

・サービス等利用計画 36件 (モニタリング含む)

イ) 指定一般相談支援事業

障がいに関する多様な相談に障害者相談支援専門員が対応しました。

また、心配ごと相談日に合わせて、障がい相談日を開設しました。

・相談業務 164件

・障がい相談日 毎月第1、第3金曜日に開設 件数 3件

⑦ 障害者支援区分認定調査

障害福祉サービスの利用を希望する本人の心身の状態や生活状況を聞き取りをし調査票の作成を行いました。

・認定調査 202件

⑧ コミュニケーション支援事業

聴覚障がい者が自立した社会生活を営むための情報を得る手段として手話通訳及び要約筆記通訳の派遣を行いました。

・利用実績 60件

利用登録者 12人 手話通訳登録者 8人 要約筆記登録者 4人

⑨ 在宅介護者の支援

コロナ禍のため2年間中止していましたが、令和3年度に過去参加者を対象にアンケートを実施した結果、事業再開を希望する声が多くありました。

規模を縮小し、介護者のリフレッシュやよりよい介護につながる講座、情報交換の場として実施しました。

開催日	7月20日(水) 21日(木)	11月22日(火)	2月14日(火)
会場	桜会の季 (交流会)	花立山温泉 (講座・交流)	花立山温泉 (講座・交流)
参加者数	17人	10人	6人

⑩ 生活福祉資金貸付事業

県社協の相談窓口として、低所得者、障がい者又は高齢者に対し、経済的自立及び生活意欲の助長を図るための貸付相談を行いました。

ア) 生活福祉資金

- ・相談件数 71件
- ・緊急小口資金 3件
- ・教育支援資金 3件
- ・福祉費 1件

イ) 特例貸付

新型コロナウイルスの影響により収入の減少で生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯に対して貸付の受け付けを行いました。

- ・相談件数 116件
- ・特例緊急小口資金 23件
- ・特例総合支援資金 27件

※令和2年3月から令和4年9月30日までの実績

- ・相談件数 1,475件
- ・特例緊急小口資金 303件
- ・特例総合支援資金 262件
- ・特例総合支援資金(延長) 107件
- ・特例総合支援資金(再貸付) 87件

ウ) 生活困窮相談支援

令和4年度から始まった特例貸付償還期間(13年)、償還免除者や償還滞納世帯の相談支援を行いました。

- ・特例貸付の償還相談対応 40件

⑪ 日常生活自立支援事業

認知症、知的障がい、精神障がいなどで判断能力が不十分な人に、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理を行い、住み慣れた地域で安心して生活ができるよう支援を行いました。

- ・利用者 延べ13人
- ・新規利用者 0人
- ・解約者 3人
- ・支援員 住民支援員 5人
- ・専門員 3人

⑫ ボランティアセンター運営事業

地域住民を対象にしたボランティアの理解と活動の推進を行いました。センター登録団体・個人への活動サポート及びボランティア交流会の実施をし、情報や課題共有を行いました。

ア) 情報の発信

- ・センターだよりの発行（6、9、12月）
- ・ホームページの更新

イ) ボランティア依頼の対応および活動の提供

ボランティア依頼への対応及びボランティアへの調整を行いました。

- ・依頼数 60件
- ・マッチング数 60件
- ・活動者数 118人
- ・ボランティア個人登録数 40人
- ・ボランティア団体登録数 15団体（206人）

ウ) 児童・青少年福祉事業と連携した福祉教育への取り組み

小・中学生向けに福祉教育の啓発と推進を行いました。

- 青少年ボランティアバンク(生涯学習課主催)への「ボランティア研修会」対応（6月4日）
- 福祉教育プログラム「知ってる？ボランティア活動のこと」対応
三並小学校（10月7日）・東小田小学校（10月25日）
中牟田小学校（12月7日）・三輪小学校（2月6～7日）
- 子ども育成塾(生涯学習課主催)への「ボランティア学習」対応
（1月21日、2月4日）

エ) ボランティアセンター運営委員会の実施（第1回：5月12日）

※第2回は、書面承認対応（11月～12月）

オ) 各種ボランティア講座の実施

講座後のボランティア活動や地域福祉への興味・関心につながる仕組みづくりを行いました。

- 音訳ボランティア養成講座 13人（7月29日）
- 小・中学生向け手話体験講座 8人（8月2日～4日）
- 大人のための手話体験講座 5人（8月24日～9月28日）
- 福祉教育サポーター講座 6人（9月9日）

- v. 笑顔 de つなぐ♪小物づくり講座 10人 (10月14日)
- vi. 聞こえのサポーター講座 20人 (11月19日)
- カ) ボランティア交流会の実施 34人 (3月26日)

センター登録団体・個人ボランティア向けの情報及び課題共有の場として行いました。

⑬ 生活支援コーディネーター事業

いつまでも地域で暮らすことができるように、住民主体による生活支援・介護予防サービスの充実が図られるよう身近な地域での支え合いを推進していますが、前期はコロナ禍により計画どおりの推進が困難な状況にありました。

今年度から地域の課題や相談に対してスポットに介入し対応することを心がけ、これまで以上に地域に寄り添った対応を行うことが出来ました。その反面、筑前町全体での地域活動の発掘や訪問が疎かになった年度となりました。

ア) LINE脳若365を活用した情報発信

- ・発信回数 40回
- ・主な発信内容 住民参加型有償生活支援サービス事業の実績報告、サロン情報、地域情報、地域支え合い活動者の募集生活支援コーディネーター活動報告等

※ぷら〜り散歩の全行政区分を「知っ得マップ」へ掲載完了

イ) 居場所の立ち上げ（見える化）の推進

いきいきサロンが解散した地域の1区に集中的に関わり、令和5年度2月開設に向けて支援しています。また、無医地区診療が行われている地域に立ち上げの推進をしています。

ウ) 住民参加型有償生活支援サービス事業の継続と発展

生活支援の実施者である「かせし隊」の登録者増員を図るため、年1回の養成講座を随時対応することで「かせし隊」登録希望者が加入しやすい仕組みに変更しました。

「かせし隊」の増員を図るため、民生委員会や各行政区等の例会に出向き、事業の紹介を行いました。

- ・新規依頼件数 26件
- ・実施決定件数 17件
- ・延べ支援回数 285回 (内SC支援回数60回)
- ・かせし隊登録者数 21人

・主な支援内容 買物代行、ゴミ出し（資源ゴミ含む）、買物付き添い散歩の付き添い等

・かせし隊のスキルアップ講座の実施

実績報告とグループワークで活動への質問や意見、不安な点や悩みなどを共有し活動しやすい環境になるような講座を実施しました。

2月10日（金）13:30～15:00 参加者 12人

エ）筑前町事業福祉サービス、事業サービスパンフレットの作成

提案書を作成し町と協議し作成することで決定しました。

（3）共同募金配分金事業

A. 高齢者福祉事業

① サロン応援隊の育成（いきいきサロン）

体操やレクリエーション技術と知識を習得するために、研修を行いました。また、サロン応援隊員不足解消のため、応援隊募集のチラシを作成しました。

・応援隊研修 3月4日（土）、7日（火） 参加隊員延べ22人

② ひとり暮らし高齢者のつどい

コロナ禍の影響から昨年度同様、外出を断念し、プレゼント企画に変更し実施しました。

・配布人数 165人

③ 敬老の日祝事業

白寿と米寿を迎えられた方へ敬老のお祝い品を贈呈しました。

・白寿 6人 ・米寿 161人

④ 金婚お祝い事業

結婚50年を迎えた39組の申請されたご夫婦に記念品を贈呈しました。

・記念品 ペアタンブラー

⑤ シニアクラブ連合会への配分及び支援

町シニア活動に対する事務支援、相談支援と助成金配分を行いました。各支部の役員会等へ参加をし、活動を広報することに協力しました。

⑥ 遺族会への配分及び支援

自主活動の事務支援と助成金配分を行いました。

B. 障がい者福祉事業

① 障がい者のつどい

10月に開催を予定していましたがコロナ禍のため、中止を決定しました。

② 福祉用具（車いす・電動ベット）の貸与 30件

③ 身体障害者福祉協会の配分及び活動支援

助成金配分を行い、自主活動への助言と事務支援を行いました。

④ 障がい者小規模作業所への配分

町内3か所（くるみ苑・ひだまり・みるくはうす）の小規模作業所へ助成金配分を行いました。

C. 児童・青少年福祉事業

① 小・中学生の福祉教育の推進

各小学校区の地域性、学年に応じた福祉への理解と芽生えを目的に、福祉教育を推進しました。

ア) 学校向けのパンフレットを作成し、「知ってる？赤い羽根共同募金」や障がいに関する体験型の福祉教育プログラムを提案しました。

イ) 福祉教育教材「ともに生きる」を希望する小学校へ配布しました。

「ともに生きる」を活用した授業見学 三輪小学校

ウ) 福祉教育実施対応

・小学校向け福祉教育プログラムの実施

「知ってる？赤い羽根共同募金」 三輪小学校・中牟田小学校

「車いす体験」 三輪小学校

「視覚障がい体験」 三輪小学校・三並小学校

・ゲストティーチャー対応 三輪小学校・三並小学校

・小学校希望の福祉教育プログラム実施

「社会福祉協議会ってどんなところ？」 三輪小学校

「いきいきサロン活動を知ろう！」 三輪小学校

「地域の宝を知ろう！」 三輪小学校

「知ってる？ユニバーサルデザイン、ボランティアセンターのこと」

コスモスプラザ見学 三並小学校

・中学校福祉体験学習 三輪中学校・夜須中学校

エ) 地域住民（福祉教育サポーター）、町内福祉施設職員と連携し、授業に取り

組みました。

- ② 各小・中学校福祉協力校へ助成金配分を行いました。
- ③ 福祉教育用具（白杖・アイマスク・点字器等）の貸与 5件

D. その他の福祉事業

① 福祉育成

ア) バス停管理

- ・老朽化したバス停の補修を行いました。 3件（石櫃・栗田・松延）
- ・バス待合所電球の交換を行いました。 3件（依井・栗田・松延）

イ) レクリエーション用具の貸与 35件

（レク用具⑩・楽器・対戦型ゲーム等）

② ボランティア活動

ア) ボランティア連絡協議会への支援と助成金配分を行い、事務対応および事業の支援を行いました。

イ) 災害ボランティア活動者に対し保険の助成を行いました。 1件

ウ) 地域住民が地域を住みよくするための支え合い活動への助成金「筑前町を良くする助成金」を行いました。

- ・申請及び決定団体数 6団体
- ・助成金総額 350,704円

3. その他

(1) 社会福祉法人連絡会

① 施設長会（親部会）

令和5年2月13日 8法人参加

朝老園・朝倉苑・菊水苑・菊池園・なずな保育園
ほっとスペースあさくら・第二野の花学園・社協

- ・ライフレスキュー活動報告
- ・コロナ感染者世帯への買物支援報告
- ・令和5年2月5日筑前町防災訓練参加報告
- ・情報交換

② コロナ感染者世帯への買物支援

- ・町からの依頼件数 14 件
- ・買物支援実施件数 延べ支援回数 11 件 (10 世帯)

③ サポーター部会

ライフレスキューサポーターが集まり、生活困窮者に対する支援を行いました。毎月 1 回の事例検討と情報の共有を行います。

- ・サポーター部会開催回数 9 回
- ・中学校福祉体験対応 3 回

(2) まちづくり出前講座

- ① 介護予防のための軽運動 4 回 (内 1 回は中止)
- ② レクリエーション用具で遊ぼう！ 23 回 (内 2 回は中止)
- ③ はじめてみよう！ボランティア活動 0 回
- ④ 地域住民向けに福祉への理解推進のため、障がい福祉に関わる出前講座の作成を計画していましたが、作成できませんでした。

(3) 災害ボランティアセンター

筑前町災害ボランティアセンター設置・運営に関する協定書の見直しに関する、町との協議し締結を計画していましたができませんでした。